

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地			
国際マルチビジネス専門学校		昭和51年3月31日	野口 和江		〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328			
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地			
学校法人東杜学園		昭和38年7月15日	野口 友子		〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328			
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	国際観光学科 トラベル専攻			平成16年文部科学省 告示第23号	-		
学科の目的	「観光立国日本」を掲げる我が国において、地域活性化は元より今後も拡大していくインバウンドやアウトバウンド等、観光業界全体を網羅する知識をもった人材の育成を目的とする。また、さらなる能力の育成・向上を図り、職業人として貢献し続けることが出来る様、より実践的かつ専門的な授業を展開する。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	2170時間	901.6時間	763時間	505.4時間	0時間	0時間	
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人の内数		18人	2人	3人	25人	28人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 テスト結果・出席状況・授業態度等の総合判断			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月30日～8月19日 ■冬季:12月19日～1月6日 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件	認定単位数以上を取得し、総時間数の80%以上履修			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前オリエンテーションの実施、資格取得指導サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談/相談、各種経済的支援制度、等			課外活動	■課外活動の種類 各種ボランティア  ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) 株式会社施工房、東武トップツアーズ株式会社、ワールドエンタプライズ株式会社、名鉄観光サービス株式会社 等 ■就職指導内容 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツデイの設定、等 ■卒業生数 : 11 人 ■就職希望者数 : 11 人 ■就職者数 : 10 人 ■就職率 : 90.9 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 90.9 % ■その他  (平成 29 年度卒業生に関する 平成30年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)			
				資格・検定名		種別	受験者数	合格者数
				国内旅行業務取扱管理者		③	11人	2人
				総合旅程管理主任者		③	11人	11人
				AXESS実用検定(国内3級)		③	11人	10人
				AXESS実用検定(国際3級)		③	9人	7人
				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)				
				■自由記述欄				
中途退学の現状	■中途退学者 6名 平成29年4月1日時点において、在学者28名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者22名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学校生活への不適合、出席率不足、経済的問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによるカウンセリング、休学の実施、等			■中退率	21.4%			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 野口一郎奨学金制度、2年次特待生制度、東日本大震災における被災学生支援制度、等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 (非給付対象)							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無)							
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.mbc.ac.jp/travel/">https://www.mbc.ac.jp/travel/</a>							

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目指し学科の教育課程を作成する。  
新しく身につけるべき知識やスキルを実務に携わる企業の方の意見を科目設定だけでなく、可能な限り既設授業の單元にも取り込みを行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員は学校法人東杜学園教職員と企業関係者等の外部委員から構成され、相互意見を十分に活かし、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	①
大久保 毅彦	株式会社JTB	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
本村 陽	株式会社日比谷花壇	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	③
野口 友子	学校法人東杜学園 理事長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 事務局	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 事務局	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 事務局	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	
島村 香奈子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年9月4日 13:00～14:00

第2回 平成30年10月2日 13:00～14:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会にて頂戴した意見を集約し、現行のカリキュラムに導入可能な単元や教授方法の改善等については可能な限り反映させられるものとした。

AI化が進む中、脱マニュアル化を意識したコミュニケーション力の育成が求められており、国際交流やインバウンド等時流の中、多様な価値観の理解や抱える問題点、またその改善点や将来性等、質を上げて盛り込んでどうかとの意見を頂戴した。

海外研修旅行や語学研修、また他学科在籍の留学生交流等も視野に入れ、学ぶ機会を取り入れていく。

(別途、以下の資料を提出)

- \* 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- \* 教育課程編成委員会等の規則
- \* 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- \* 学校又は法人の組織図
- \* 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求に応えられるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を行った上で評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
AXESS実習	日本航空(JAL)の予約発券システムAXESSを使用し、航空機の予約からチケットの発券までを習得する	株式会社AXESS国際ネットワーク
国内添乗業務	添乗員の心構え、業務の流れ、お客様とのコミュニケーションなどを学ぶ	株式会社トップ・スタッフ

(別途、以下の資料を提出)

\* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修規程を基に、卒業後就業を目標とする業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を得て学生の指導へ活かしていくことを目指す。また、研修を受講することで実践的な技術や技能の向上に努めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「教育機関向け安全対策セミナー」(連携企業等:外務省、株式会社オオコシセキュリティコンサルタンツ)  
期間:2月22日(木) 対象:校長  
内容:海外研修・留学の際の学校側の危機管理について事例を通して研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「青年期メンタルヘルス勉強会」(連携企業等:青葉区保険福祉センター)  
期間:9月22日(金) 対象:教務部長  
内容:メンタルヘルスを支える上で必要な知識や学生への関わり方、コミュニケーションについての研修

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「シンガポール研修」  
期間:10月22日(月)～10月26日(金) 対象:国際観光学科教員  
内容:観光立国であるシンガポールの観光資源を視察予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「スキルアップの語学・観光系検定受験」  
期間:11月上旬～1月下旬 対象:教務部教員  
内容:学生目標資格について、スキルアップのため教員が受検予定

(別途、以下の資料を提出)

- \* 研修等に係る諸規程
- \* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- \* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校に関係する人々から見ても理解頂ける様、評価の客観性を高めたい。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・人材育成等
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	学修成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

例年、学校関係者評価委員会を通じて、忌憚のない意見を頂戴し、企業との考え方と比較しながら教員各々が学校の理念、客観性また透明性の再確認をさせて頂き、研修受講と同様の学びや気づき、また刺激を頂戴しているいい機会となっている。

留学を必修とする「総合英語学科」、外国人留学生を対象とする「日本語ビジネス学科」新設に反映された。

また、学園の教育理念として従来確認してきた「人間力」、「社会人基礎力」の涵養に加え、世のAI化が進む中、“自ら考え、発想し、動く”といった脱マニュアル化を常々意識し盛り込み反映させる。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
大久保 毅彦	株式会社JTB	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員
本村 陽	株式会社日比谷花壇	平成29年4月1日～平成31年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

公表時期: 30年11月7日

(別途、以下の資料を提出)

- \* 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- \* 自己評価結果公開資料
- \* 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第134条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施および公表が義務付けられた。本校では平成27年度より学校関係者評価編成委員会を立ち上げ、また自己評価を基本とし、学校関係者評価委員会により、外部委員を通じてより社会に貢献できる、また教育水準の向上に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2)各学科等の教育	学校運営
(3)教職員	学校運営
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生支援
(7)学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8)学校の財務	財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ募集
(11)その他	社会貢献・地域貢献・法令の順守等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

\* 情報提供している資料

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光学科トラベル専攻) 平成30年度											1 / 5					
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			AXESS実習	日本航空（JAL）の予約発券システム「AXESS」を使用し、航空機の予約からチケットの発券までを習得する。	1,2 通	95.2	16			○	○			○	○	
○			旅行英語	観光業界用語、旅行に関する実務的な事柄を英語を通して習得する。	1,2 通	95.2	16	○			○				○	
○			国内ツアープランニング	時刻表の利用方法、パッケージツアーの企画、旅行代金の算定、パンフレットの制作方法などを習得する。	1 通	71.4	12		○	△	○				○	
○			国内添乗業務	添乗員の心構え、業務の流れ、お客様とのコミュニケーションなどを習得する。	1 後	23.8	4	○	△		○				○	○
○			国際航空運賃料金	国際航空運賃の計算ルールを基本に、個人用の国際航空運賃・包括・特別運賃などを習得する。	1,2 後前	47.6	8		○		○				○	
○			エアラインビジネス	旅行業界・航空業界で用いられる業界用語や、航空券・航空会社の特性を習得する。	1 後	23.8	4	○			○				○	
○			総合管理者試験対策	総合旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に指導する。	1 後	23.8	4		○		○			○		
○			カウンターセールス実習	接客セールスの実技を、お客様と旅行者のカウンター業務の流れとしてロールプレイングにて習得する。	2 通	47.6	8			○	○				○	
○			海外添乗業務	海外添乗の際に必要な出入国手続きや国際感覚を習得する。	2 後	23.8	4	○	△		○			○		
○			海外旅行実務	海外の旅行実務必須の業界用語や都市・空港コード・OAGの読み方などを習得する。	2 通	47.6	8		○		○				○	
○			トラベルマーケティング	旅行業界市場の最新の動き（顧客のニーズなど）を解説し、今後のマーケットをさぐる。	2 後	23.8	4	○			○				○	



## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光学科トラベル専攻) 平成30年度											2 / 5				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			海外観光資源	世界各国の観光ポイントや観光資源の知識を深め、自然景観・史跡・祭り・世界遺産など幅広く習得する。	1,2 通	95.2	16			○	○			○	
○			温泉地概論	国内旅行において欠かせない各地の温泉について所在地・効能・周辺観光地・歴史等について習得する。	2 後	23.8	4	△	○		○				○
○			国内旅行実務	国内旅行業務取扱管理者試験対策として、日本国内の観光地や温泉、JRの運賃計算などを習得する。	1 前	47.6	8			○	○				○
○			旅行保険	旅行会社のカウンター業務に欠かせない資格取得に向け、海外旅行保険を中心に習得する。	2 後	23.8	4	△	○		○				○
○			旅行業法	旅行業の法律である、旅行業法の理解と、法律的处理の方法を習得する。	1 前	23.8	4	○			○				○
○			旅行業約款	標準旅行業約款を基準に、旅行に関する契約の変更や取消料、補償金について習得する。	1 前	47.6	8	○			○				○
○			国内観光資源	日本国内の観光ポイントや観光資源の知識を深め、温泉・自然景観・史跡・祭り・世界遺産など幅広く習得する。	1 通	71.4	12			○	○				○
○			出入国法令実務	渡航手続きにおけるパスポートの取り方、査証・検疫・関税法など海外旅行に関わる法律実務を習得する。	2 前	23.8	4	○			○				○
○			海外ツアープランニング	AXESSを駆使して、募集型及び受注型企画旅行の旅行商品造成を習得する。	2 通	71.4	12		△	○	○				○
○			プレゼンテーション	企画や提案の方法を学び、スキルの向上を目指す。	2 後	23.8	4	△	○		○				○
○			国内管理者対策ゼミ I	国内旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	1 前	23.8	4			○	○				○

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光学科トラベル専攻) 平成30年度											3 / 5				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			国内管理者対策ゼミⅡ	国内旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	1前	23.8	4		○		○			○	
○			国内管理者対策ゼミⅢ	国内旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	1前	23.8	4		○		○			○	
○			総合管理者対策ゼミⅠ	総合旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	2前	23.8	4		○		○			○	
○			総合管理者対策ゼミⅡ	総合旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	2前	23.8	4		○		○			○	
○			総合管理者対策ゼミⅢ	総合旅行業務取扱管理者試験対策として、過去問題や予想問題を集中的に行う。	2前	23.8	4		○		○			○	
	○		観光概論	観光関連産業の形態、分類から旅行業の歴史を学び、最新情報や旅行の現状から今後の傾向を習得する。	1通	47.6	8	○			○			○	
	○		ホテル概論	旅行業とホテル業は密接に関連しており、必須の知識としてホテルの歴史や役割を中心に習得する。	2後	23.8	4	○			○			○	
	○		世界遺産	世界の文化遺産、自然遺産、複合遺産についての知識を広め、さらに世界遺産検定に備える。	2通	47.6	8	○			○			○	
○			パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	1,2通	95.2	16	△			○	○		○	
○			就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	1,2通	95.2	16	○	△		○			○	
○			総合英語	聞く、話すを中心とした会話を習得する。	1,2通	95.2	16	○			○			○	

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光学科トラベル専攻) 平成30年度											4 / 5				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			社会人マナー	社会人としての立ち居振る舞いについて実践形式で習得する。	1 通	47.6	8	○	△		○			○	
○			ボールペン習字	心のこもった美しい文字を書ける様指導する。	1 通	47.6	8	△		○	○				○
○			秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	1,2 通通	95.2	16	○	△		○				○
○			就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題などでの対策を実施する。	1,2 後前	47.6	8			○	○				○
○			ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を学び、接客業に不可欠なホスピタリティ精神の向上を目指す。	1,2 後前	47.6	8	○	△		○			○	
○			オーラルイングリッシュ	ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話で、レベルに合わせた授業を実施する。	1,2 通通	95.2	16	○	△		○				○
○			学科別海外研修旅行	海外の空港・ホテル・観光資源などを視察、ツアーガイド研修を実施する。	1 後	105	5			△	○		○	○	
○			スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	1,2 前前	16.8	2				○		○	○	
○			アウトドア研修	校外にて東北の良さを再確認できるイベント・研修を実施する。	1,2 後後	16.8	2				○		○	○	
○			就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	1,2 後前	9.8	2	○			○			○	
○			ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する為に実施する。	1,2 後後	2.8	2				○		○	○	

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程 国際観光学科トラベル専攻) 平成30年度											5 / 5				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			学科別研修 (国内ツアー プラ)	オリジナルツアープランを作成・発表後、 優秀作品のツアーヘクラス全員で実際に旅 行をする。	1 後	35	4	○	△		○	○			
○			学科別研修 (宿泊施設見 学)	実際の宿泊施設を見学し、担当者からお話 しを伺う。	2 後	7	1			○		○	○		
○			学科別研修 (海外ツープ ラプレゼン)	海外旅行商品を作成し、プレゼンテーショ ンを行う。	2 後	16.8	3	○	△	○		○			
○			特別講座 (旅行管理者 対策)	国内・総合旅行業務取扱管理者試験に向け た集中講義を実施する。	1,2 前前	44.8	8	○		○			○		
○			特別講座 (旅程管理)	海外旅行及び国内旅行の主任添乗員になる 為の研修を実施する。	1 後	11.2	2	○		△	○			○	
合計					49	科目	2170単位時間(351単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位数を修得し、1年毎に総時間数の80%を履修 単位取得：学期毎に出席率80%以上且つ各期末試験で合格(60点以上)と認定された場合	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。